

< 集団的かつ持続可能な支援体制の構築に積極的に取り組む事例 >

○ 共同取組活動による持続可能な農業生産活動の確立

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	広島県 <small>おのみち</small> 尾道市 <small>おきあやめ</small> 沖綾目			
協定面積 5.9ha	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稻			
交付金額 123万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	農道・水路の維持管理等		15%
		防除助成費		25%
		その他		10%
協定参加者	農業者 23人			開始：平成22年度
人・農地プランの作成状況	作成していない			

2. 取組に至る経緯

沖綾目集落は、尾道市北部の中山間地域にある水稻経営が主な集落である。集落内の農業者は高齢化・後継者不足が懸念され、耕作放棄地の発生を防止し、持続可能な農業を発展させるため、第3期対策から中山間地域等直接支払制度への取り組みを開始した。

3. 取組の内容

共同取組活動は、畦畔・農道・用水路・ため池の草刈りなどの管理を行っている。

特に水路については、老朽化した水路の補修や管理用側道の整備を協定参加者が共同作業で計画的に行っており、今後も継続して整備を行っていく計画をしている。

また、水稻の無人ヘリコプターによる薬剤防除費用への助成を行っており、安定した水稻生産をしている。

当集落は、中山間地域等直接支払制度へ取り組む以前から人間関係が良好で、各種行事への取り組みも積極的に参加を得ていた。共同作業への参加も同様で多くの参加者の協力を得て取り組みができています。

今後も引き続き共同作業などの活動に取り組む集落の活性化を図っていきたい。



【水路管理用側道の整備】



【山間にある協定農用地】

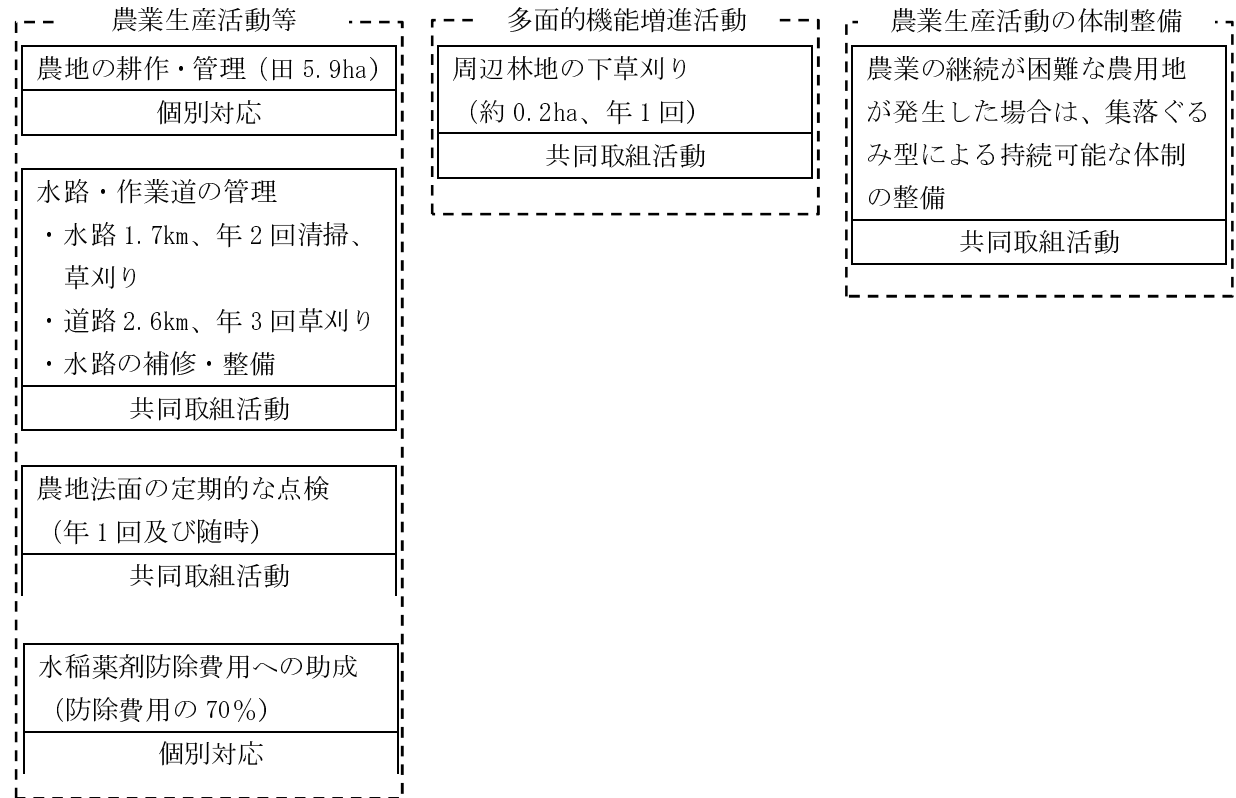
[集落の将来像]

- 協定参加者の共同活動により、農業生産活動の継続を行い、集落のコミュニケーションを図っていく。



[将来像を実現するための活動目標]

- 集落内の用水路の補修等を集落全体で継続して実施
- 集落の代表者や役員を中心に、将来の担い手育成のための話し合いを開始



4. 今後の課題等

耕作者の高齢化や後継者不足などにより、農用地などの維持管理が負担となり、農業の継続が困難になると考えられる。

また、集落の規模が小さいため集落内だけで独自に担い手を育成することも困難なため、近隣の集落や農業生産法人との連携を図りながら、担い手の育成をしていく必要がある。